

私学助成署名 29都道府県134万9059筆に到達！

(11月29日12:00時点)

岩手、山形、福島、茨城、埼玉、千葉、奈良、岡山、山口、福岡、佐賀で前年比60%超に！

父母、生徒とともに踏み出すなかで
未加盟校、管理職にも広がる運動に！



青森：今年度から新しく、未加盟校の青森明けの星高校が署名にとりこんでくれました。最終的に710筆の署名を集めてくださいました。五所川原第一高校では、そだてる会幹事の先生が生徒会役員対象の校内説明会をおこない、また各HRにも出向き、署名の説明をしてくださりました。生徒会役員は、自主的にポスターや動画を作り署名を呼びかけたいと話しています。

福井：仁愛女子では、生徒会を中心とした自主活動のメンバーが昼食時を利用して、各クラスで説明しながら署名呼びかけをおこないました。昨年を上回る1000筆を目標にしています。北陸高校では、12月の保護者会の際に、校舎玄関に署名用紙を置き、これまで生徒交流会に参加した生徒に呼びかけをおこなってもらうことを計画しています。

滋賀：11月23日、私学振興大会に合わせて、会場最寄り駅の膳所駅前で街頭署名を実施しました。生徒は比叡山高校と近江兄弟社高校に加えて、なんと未加盟校の滋賀学園高校からも参加がありました。滋賀学園は校内配布をしていない学校です。ヴォーリス学園(近江兄弟社高校)の理事長も参加しました。また、近江兄弟社高校の署名集約で、知事への手紙の件数が3倍に増えました。近隣府県との差を訴えるものや、多子世帯、所得制限にぎりぎり引っかかる世帯からの悲痛な叫びが書かれています。

福岡：10月26日午後、筑後地区、北九州地区にて街頭署名活動をおこないました。現役高校生による署名協力の呼びかけが、行き交う人々の足をとめる効果につながったように思います。静岡から小倉に観光目的で来られた男性の「経済的な理由で勉強したくてもできない、ということは絶対にあってはならないですね」とのお声かけが印象に残りました。

熊本：九州学院で久々に保護者への私学助成説明会を実施。熊本中央では教員向けの学習会を実施しました。開新では校長へ署名への協力をお願いしたところ、「ぜひお願いします。私学はもらう額が少ないので」と一言。教員用校内メールでの呼びかけも許可してもらい、署名用紙を配りやすくなりました。

県単ゼロ(全国で残り9県)がいよいよ動くか？ 佐賀県に注目

11月27日に父母4人、教職員7人で県議会に署名を提出しました。その際に、対応した副議長から「具体的な話をしたい」という提案があり、就学支援金の県補助は多子世帯給付増額と590万円の所得制限緩和のどちらが優先かと問われました。まずは650万円もしくは720万円までの県単補助、720万円以上の多子世帯への補助など具体案を提示して議論しました。また、「今後もこのような会を開催したい」「法務私学課への要請に県議も呼んでほしい」との言葉をいただきました。

本日以降、署名集約数を毎日本部に報告してください！

「高校無償化」実現が目前の情勢にふさわしい署名を集めよう！

12・6院内集会までに私学助成全国署名の集約と議員要請を！

国向け署名は2月中旬まで、さらに広げる方針を立てよう！

12・6院内集会の参加者・議員名簿は12/3(火)までに必ず報告を